



彩の国
埼玉県



埼玉県マスコット
「コバトン」
「さいたまっち」

— テーマ展 —

埼玉の中・近世

～ 発掘された道沿いの風景 ～



広木上宿遺跡 (金製小型宝塔)



栗橋宿跡 (土人形)



栗橋宿本陣跡 (染付皿)



栗橋宿本陣跡 (徳利)

令和2年

2.22^土

— 5.31^日 —



埼玉 県立 さきたま史跡の博物館

Museum of The Sakitama Ancient Burial Mounds

埼玉の中・近世

～発掘された道沿いの風景～

埼玉県域は要所をつなぐ地として重要な役割を担ってきました。そのために中世には鎌倉街道上道・中道など、近世には中山道や日光道中などとそれぞれ重要な道が通されています。

これらの道が当時の政治や経済にとってどのような意味があり、どのように使われたかについては文献調査により次第に明らかになっています。

一方で、記録に現れない道沿いの人々の暮らしはなかなか見えてきません。

今回の展示では、文献調査の成果に加えて、発掘調査の成果を用いて道沿いの人々の暮らしを考えます。

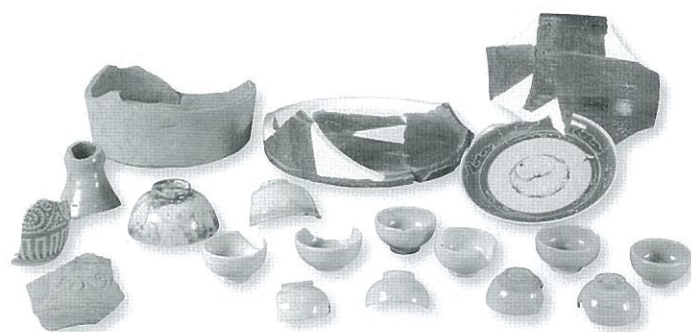
主な展示資料

中世の道沿い

堂山下遺跡(瀬戸小壺・けがき針)	埼玉県教育委員会
崇徳寺跡(蔵骨器)	毛呂山町教育委員会
日向遺跡(かわらけ)	小川町教育委員会
広木上宿遺跡(小型宝塔・瓦)	埼玉県教育委員会

近世の道沿い

栗橋宿跡(旅籠応接食器 坏)	
附木屋関連遺物 灯明皿 火打石)	埼玉県教育委員会
栗橋番土屋敷跡(メガネ)	埼玉県教育委員会
栗橋宿本陣跡(本陣応接食器 染付大皿)	埼玉県教育委員会



栗橋宿跡(第140号土壌出土品)



栗橋番土屋敷跡(メガネ)



栗橋宿跡(油受皿)



堂山下遺跡(土釜)

関連事業

(1) さきたま講座⑦「発掘された栗橋宿—出土資料と文献史料」

講師:新井浩文氏(歴史と民俗の博物館学芸主幹)

日時:令和2年3月14日(土) 13:30~15:30

※開催日の前月の1日から電話・ファックス・電子申請で受付、先着70名

(2) 学芸員による展示解説(毎月月末の日曜日に実施)

令和2年2月23日、3月29日、4月26日、

5月31日 午後2時~(約30分)

埼玉県立 さきたま史跡の博物館

Museum of The Sakitama Ancient Burial Mounds

〒361-0025 埼玉県行田市埼玉4834 TEL.048-559-1181 FAX.048-559-1112

さきたま史跡の博物館 🔍 検索 URL: <http://www.sakitama-muse.spec.ed.jp/>



二次元コード

【開催時間】午前9時~午後4時30分(入館は4時まで)

【休館日】3/2・9・16・23・30 4/6・13・20・27 5/11・18・25の月曜日

【観覧料等】一般200円(120円)、学生100円(60円) 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方(付添1名を含む)は無料

※()内は20名以上の団体料金

電車・バス

■JR高崎線「吹上」駅下車(北口)

朝日バス「佐間経由 行田折返し場・総合教育センター・行田工業団地」行乗車「産業道路」下車徒歩約15分 1時間に3~4便

■JR高崎線「行田」駅下車(東口)

市内循環バス(観光拠点循環コース 左回り)「JR行田駅前」乗車「埼玉古墳公園前」下車徒歩約2分(乗車時間約15分) 7:55発 10:20発 13:25発 15:55発

市内循環バス(観光拠点循環コース 右回り)「JR行田駅前」乗車「埼玉古墳公園前」下車徒歩約2分(乗車時間約37分) 9:05発 11:30発 14:35発

■秩父鉄道「行田市」駅下車(南口)

朝日バス「新町1丁目(埼玉りそな銀行前)」から「佐間経由吹上駅」行乗車「産業道路」下車徒歩約15分 1時間に3~4便

市内循環バス(観光拠点循環コース 右回り)「秩父鉄道行田市駅前」乗車「埼玉古墳公園前」下車徒歩約2分(乗車時間約21分) 9:21発 11:46発 14:51発

自動車

■東北自動車道 羽生インターから約15km

■東北自動車道 加須インターから約17km

■関越自動車道 東松山インターから約18km

■関越自動車道 花園インターから約25km

■圏央道 桶川加納インターから約17km

